

ごあいさつ



経営管理委員会会長 萬 歳 章

代表理事理事長 石橋 文夫

皆さまには、日頃より、新潟県信用農業協同組合連合会（JAバンク新潟県信連）に対して格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は、昭和23年の創立以来、「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合精神の基本理念に基づき、豊かな「農業」と「暮らし」を金融面からサポートしてまいりました。このたび、当会の事業・経営状況について一層のご理解をいただくため、平成25年度の業績や活動内容をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ぜひご高覧いただき、当会へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

平成25年度のわが国経済は、安倍政権による大胆な経済政策に加え、米国をはじめとする海外経済の回復期待、円安を背景とした企業収益の回復、株高による消費者心理の改善等により緩やかながら回復基調が継続し、県内においても、景気は下げ止まりから持ち直しへと転じました。

また、市場金利は、異次元とも称される日銀の量的・質的金融緩和政策の継続から、低水準で推移しました。

このような状況のもと、JAバンク新潟（信用事業を行っている県下のJAと当会を併せた総称です）では、農業メインバンク・生活メインバンク機能の強化等に取り組み、メイン強化先・担い手経営体等への対応力強化、個人貯金およびJAバンクローンの増強等に努めました。

平成26年度は、JAバンク新潟の中期戦略および当会の第15次中期経営計画の第2年次となりますが、「食と農、地域社会に貢献し、確固たる存在感を発揮し続けるJAバンク」の実現」という基本目標の達成に向け、JAバンク新潟の県域本部としてさらなる機能発揮に努めるとともに、経営管理態勢の強化等に取り組み、組合員をはじめ地域の皆さまからの期待と信頼に応えてまいり所存ですので、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月

新潟県信用農業協同組合連合会

経営管理委員会会長

萬 歳 章

代表理事理事長

石橋 文夫